



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2016年3月2日 No.154

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

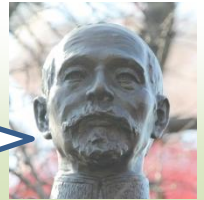
この銅像、どなたですか？ ～周南市編①～

山口県内には多くの銅像が建っています。歴史上有名な人物や地域に貢献した人物ですが、「この人だれ？」って思いませんか。



わたしは、周南市の児玉公園にいます。

どなたですか？



この銅像の人物は、江戸～明治時代の軍人・政治家「児玉源太郎」です。周防国都濃郡徳山村（現在の周南市）に、武士の子として生まれましたが、幼少期は貧しい生活を送りました。

台湾総督として、土地改良、鉄道開通、衛生環境の改善、学校教育の普及などをすす、台湾の近代化を促しました。日露戦争の勝利に貢献し、また陸軍大臣、内務大臣、文部大臣など明治政府の要職も歴任し、近代日本の発展に尽力しました。

私財を投じて図書館「児玉文庫」を開設するなど、ふるさと徳山（現周南市）の発展にも尽力しました。



わたしは、周南市の鹿野総合支所にいます。

どなたですか？



この銅像の人物は、江戸時代の治水家「岩崎想左衛門重友」です。

もともと岩崎家は、毛利家の家臣でしたが、想左衛門が生まれた時には農業をして暮らしていました。当時、鹿野の台地は周辺の川よりも高く、毎日の水汲みに大変苦労していました。新しく田畑を開くことも難しく、村人の暮らしは大変でした。想左衛門は、漢陽寺の裏山を掘り抜き、川から水を引いてくることを思いつきました。私財を投じ4年の歳月をかけて水路を造ることに成功し、村人の生活は大変豊かになりました。

後年、水路は「潮音洞」と呼ばれるようになり、県指定文化財（史跡）とされています。